

武蔵野市_(19)廃棄物の適正処理推進事業_提出リスト②_要5_実績報告確認資料

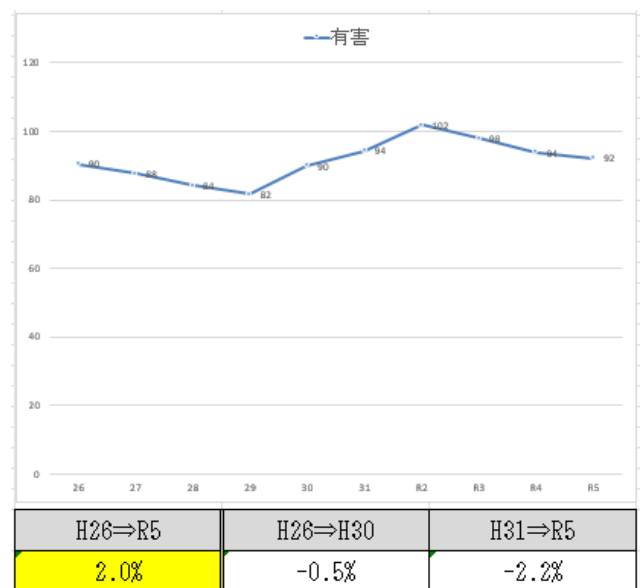
表1 武蔵野市の危険・有害ごみ収集量推移			
月	令和6年度	令和5年度	前年度比
4月	7,480	6,480	15.43%
5月	7,630	7,500	1.73%
6月	6,530	6,940	-5.91%
7月	7,230	6,880	5.09%
8月	7,490	7,840	-4.46%
9月	7,380	7,240	1.93%
10月	8,060	8,300	-2.89%
11月	8,130	8,040	1.12%
12月	10,530	9,290	13.35%
1月	10,230	9,330	9.65%
2月	7,150	7,130	0.28%
3月	7,120	7,190	-0.97%
計	94,960	92,160	3.04%

単位：kg

表2 事業実施前後での比較				
期間	区分	令和6年度	令和5年度	月平均 前年度比
4月～10月	合計	51,800	51,180	
	月平均	7,491	7,403	1.20%
11月～3月	合計	43,160	40,980	
	月平均	8,632	8,196	5.32%

図1 危険・有害ごみの収集量推移（平成26年度～令和5年度）

※令和6年7月5日実施 第9期第2回武蔵野市廃棄物に関する市民会議 資料5より抜粋



事業実施による取り組み効果の検証結果

コロナ禍以降、下降線をたどっていた危険・有害ごみの排出量〔図1参照〕は、事業実施以後には前年度と比較して明らかな増加傾向を示した〔表1・表2参照〕。このことから、本事業がリチウムイオン電池を含む機器の適正排出に寄与し、施策誘導を実現したと言える。